

OVER
18
AGE ONLY

不知火流房中術
〜初段〜
「封妊の儀」

新日本パプン党



不知火流房中術
初段
封妊の儀

「いや、待ち遠しかったぜ舞ちゃん♡
じゃあ早速テリーの家行こうぜ♡」

「フフッ♡
二人ともちやあんと
“元気”そうね♡」

「今回もアンディのヤツには
“くのいちの任務”って言うてきたのか？
まあーウソじゃねえんだけどw」

「今回も舞ちゃんのドスケベマンコのために、
4日もオナ禁してたっぷりザーメン溜めてきたぜ☆」

「あら偉い♪
頑張ったわね♥」

「こつちも、オイスターにチーズ、
ビーフにラムをたっぷり食ってきたからな、
お望み通り一晩中だって射精しまくれるぜ!!」



「クリッ♡
クリもどじい♡ヒッ♡」



「ああッ!?♡
イツ♡そこオツ♡」



「あッ♡
そこダメエッ♡」

「あッ♡
うあッ♡」



「舞ちゃん今
マジイキしたっしょ☆」

「か、軽くよ
軽く...♡」

「ジヨの手マン
いつも深いんだモン...」

「いやいやスゲー
のけ反ってたじゃんW」

「マン汁もスゲー♡w」



「あッ♡♡
ふッ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」



「んっ♡んムっ♡
んぷっ♡おんっ♡」

「んあ…♡
二人ともたあっぷぶり
お願いね…♡」



「ああんッ♡
ふッ深アッ!!♡♡」

「グウ~~~~ッ!!
相変わらずの絶品トロマン♡♡」

「そう言やアッ
舞ちゃんとはまだゴム付けて
しかやれてねえのかw」

「っつか去年から忙しいのでセックス
断られてるって泣き言言ってたぜ」

「...だ、だって
仕方ないでしょ...?♡」

「舞ちゃん
ヒデーw」



「でもまあこの封妊術だか
妊封術だかのおかげで...」

「こうやって毎月生で
舞ちゃんのエロマンユ堪能
出来てるんだけどよ...☆」

「そ、そおよオ!!!
だから封が...♡解ける前に...♡
新鮮な精液で子宮いっぱい
してもらってエ♡」

「また封印の力をオッ♡
補充しとかないとオ...ッ!!!」

「ではリクエストにお応え
してエ!!早速たっぷり
注がせて頂きますッ!!!」

「ああん!!♡
嬉しいッ!!♡♡」



「うおッ!!オオオオオオッ!!
一発目エエエエッ!!!」

「あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!
あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!

あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!
あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!
あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!



「ジューの二発目っていつも射精長いから好きい...♥」

「おっ!舞ちゃんの
エロ穴だったらまだまだ
ナンポでもイけるぜ...☆」

あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!
あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!



「くおおおお...ッ!!!
あ...まだ出る...!!!」

「あヒッ♥あッ♥あッ♥
子宮熱っっっ...!!♥」

あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!
あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!



「おお...ッ!?
まだザーメン搾り取ろうと
マンコ吸いついてんぜ♥」

「ああ...ッ♥
あフッ♥
あ...」

あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!
あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!あ!



「んっ♡
テリってホント
騎乗位好きよねえ♡」

「舞の爆乳が顔の上で
跳ね回るのが好きなんだよ」

たぶら

んっ

んっ



「Right!
オレの番だな!」

「いつも通り、舞に
乗ってもらおうかな♡」

んっ

んっ



「オッホ~~~~♡
絶景~~~~」

たぶら

たぶら

んっ

んっ

んっ

んっ

「あんな♡♡♡
やっぱりテリーのチンポ
大きすぎて♡
子宮押されてる♡」



「んっ♡
おおお……」

んっ



「んっ♡♡♡
おっおお……♡」

んっ



「あッ♡あッ♡
ああんッ♡
おッ大きい♡」



「う~~~~ん、この揉み心地、
重量感、ホント最高だな♡」
母乳も搾っただけ噴き出すし♡



「あッ♡あッ♡
ああんッ♡
おッ大きい♡」

「おっっしゃ!!
今日も舞ちゃんの
全穴制覇っ!!」

「あッジョーテメエ
ズリイぞー!」



「ビあッ!!
ああんッ!!♡」

「いーじゃんそろそろ
ダブペネ解禁ってコトで」

「あウ…ッ♡?!あなるッ
擦れエ…ッ!!♡♡♡」

「あウンッ♡?!
あッ♡!!」

「ホラホラッ!
舞ちゃんの好きな
両穴だぜッ!!」
爆発突き〜ってなw

「あヒイインッ?!♡
同時に奥まで突くの
ダメエエエエッ?!♡♡♡」



「オマシコも♡
アナルもオオツ♡
硬いので奥まで
ゴリゴリされてる
のオッ♡♡♡♡♡」

「凄いいい♡♡♡♡♡
ダメエッ♡♡♡♡♡
だぶッ♡♡♡♡♡
妻すぎ♡♡♡♡♡」

「オウラあッ!!
合わせる♡♡♡♡♡」

「オウラあッ!!
同時射精だああ!!」

「ウツオオオオツ!!
子宮でたっぷり
食らえええッ!!」

「アッああ♡♡♡♡♡
あッああ♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡」

「オウラあッ!!
合わせる♡♡♡♡♡」



「あウ…ッああ…ッ
ひ、ひあわへエ〜…♡」



「おおお…ッ!!♡
タマンねえ〜ッ!!
「どう…だア舞…ッ!!
新鮮直搾り
ザーメンの味は…ッ!!」



「あーあ。ほとんど
こぼれちまつてるじゃねえか」

「あん…ッ無理よオ!♡
テリリのチンポ大きすぎて
いつもオマンコ開きっぱなしに
なっちゃうんだもの!♡」

「こりやもう5、6発は
子宮内射精し直しだな
舞ちゃんw」



「抜くぜ舞、
一滴も漏らすなよ」

「あッ!?♡あッ
ああ…ッ♡」



「ああ…ッ!?♡
…あフ…ンンッ♡」



「いや〜ただ単にオレも全穴制覇しとかないと不公平だろ?」

「舞、次はオレにアナル使わせてくれ」
「フッ…♡もちろんいいけど…
テリッってアナルよりオマンコ派じゃなかった?♡」

「あ〜っ〜」



「あ〜っ♡
ちっ違うわよオ…♡
任務で何人もいつべんに相手することもしよつちゅうあるし…
いつでも使えるようにしておかないと…♡」

「でもホントは術って膣内射精だけでいいんだろ?w
毎回こうやってアナルにも欲しがるってのは結局両穴輪姦好きだけなんじゃんw」

「あ〜やっぱ舞はケツ穴も絡みついてきてサイコロだな♡
皆が使用いたがるのも納得だぜ…♡」

「あ〜んんん…!!!
ふっ…太いいい…♡」

「そ、それと…あなた達どっちかがオマンコ待ってるンツ…間…ツ♡
寂しいんじゃないかって…
ただの親切心よオ…ツ♡」

「流石舞ちゃんw」



「あッ!!...ん♥」

「Heyジョー!! それならオレらで
黒人以上に両穴突きまくって
そんな思い出吹き飛ばしてやろうぜ!!」

「オウツ!! 任しとけ!!」



「ナニ~~~~ツッ? 黒人ヤロー!!
オレらの舞ちゃんマンコ3日間も
好き勝手に使いまくりやがって許せねえツッ!!」

「つて言うか、この間の諜報任務なんか
何故か黒人20人のデカチンで
三日三晩延々と輪姦され続けて
オマシロもアナルも腫れ上がって
大変だったんだから!!!」
「アレは流石に孕まされるかと思つたわ。」



「じゃ舞、自分でマンコ広げて
ジョーにお願いしてみ?」

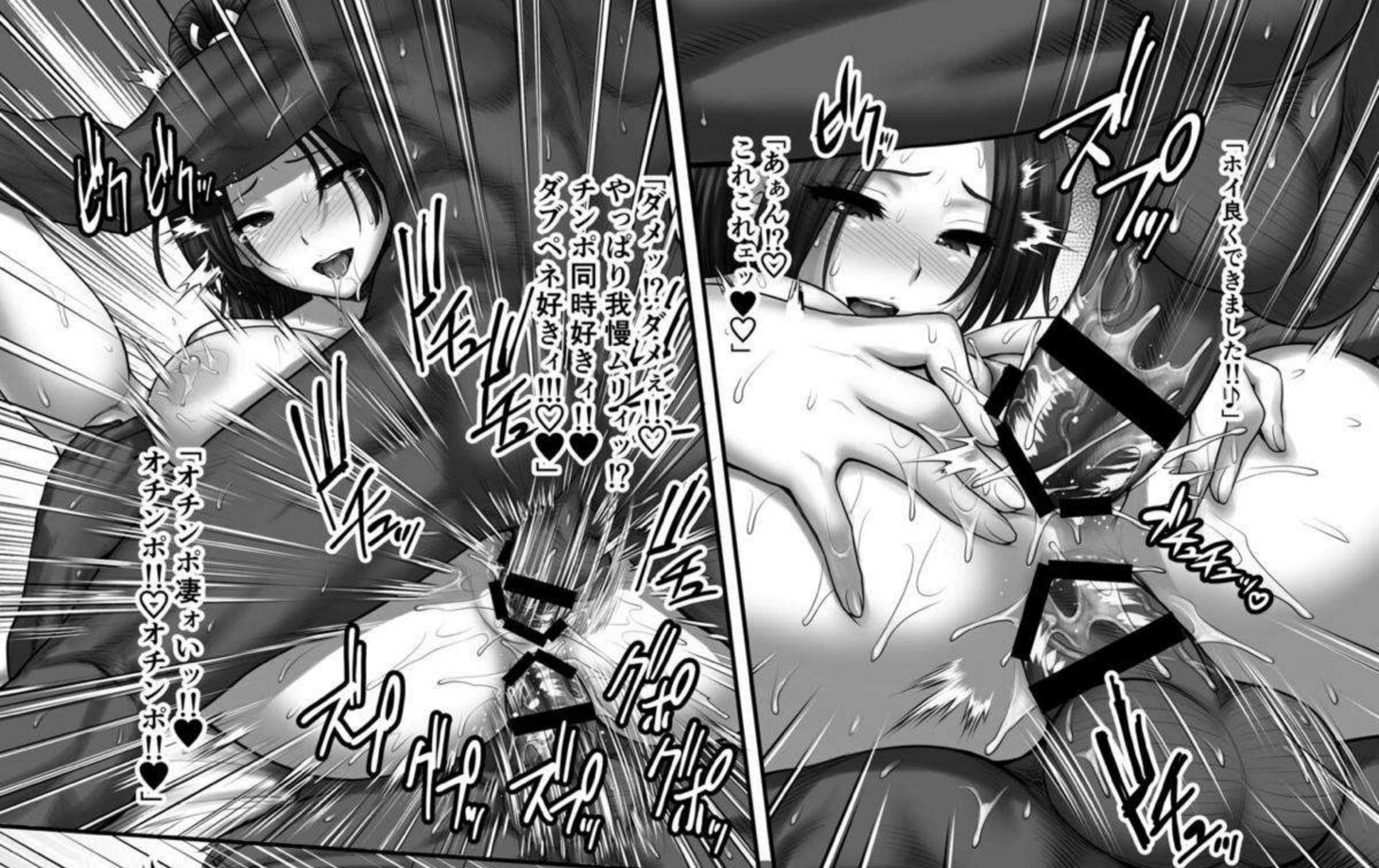
「今更ナニ言ってるんだよW」

「もオ~~~~♥」

「え~~~~♥
ヤダ恥ずかし♥」

「ああん♥ お願いさ♥
ジョーのピンピンオチンポで
テリーと一緒に二晩中両穴の奥まで
ガツツンガツツン突いて欲しいのオ♥」

「やっぱり二人のオチンポで
二緒が一番イイのオ♥」



「ホイ良くできました!!」

「ああん!?♡
これこれエッ♡」

「ダメッ!?ダメッ!!♡
やっぱり我慢ムリイッ!!
チンポ同時好きイ!!♡
ダラペネ好きイ!!♡」

「オチンポ妻オいッ!!♡
オチンポ!!♡オチンポ!!♡」



「二人の金玉空になるまで!♡
ザーマンドピュドピュしてエ!!?
両穴ザーマン漬けで
お腹タラタラにしてエ!!♡」

「任せろオ...ッ!!
そら4...ッ発目エエ...ッ!!!」

「あッ!!♥♥ヒッ!?あッ♥♥アッ!!
2本ッ!?♥♥こすれてるッ!!♥♥
いっばいッ♥♥突いてエッ!?♥♥」

「アイッ!?♥♥うらんッ!!♥♥
入り口もッ!!奥もオッ!?♥♥」

「オオッオ~~~~ッ!!
5~~~~ッ発目エ~~~~ッ!!」

「~~~~っちは6発目だアッ!!
うおッ!?オオオ~~~~ッ!!」

「ああッふう~~~~ッ!!♥♥
はッああああ~~~~ッ!!♥♥
あッ溢れちやうらう~~~~ッ!!♥♥」

「フ~~~~ッ~~~~よーしッヨーし、
舞のマンコも大分ほぐれてきたし、
そろそろDVタイムといくか~~~~ッ!!」

「だな!!チンコ元気なうちに
コレいつとかないと♥♥」

「えッ!?ダッダマエッ!?
中出しですつとイキまくってるのに
今オマンコ同時されたらアッ!!♥♥」

「ダメエツッ!?!♡ 拡がるううッ!?!♡
ギチギチ言ってるウウウッ!!♡」

「いーだろ?♡
ちまっちま二発ずつやるより
2本同時の方が早く子宮二杯に
できるぜ!!!」

「オラッ!!
子宮に直注入してヤッから
アンデイより好きって言えッ!!!」

「そーそー♡
つつか舞ちゃんのマンコは
これでも物足りないうて言ってるぜ♡」

「オマッ♡♡♡♡♡
壊れるウッ!!♡
こわれちゃう♡♡♡♡♡」

「くッオオオ~~~~!!?!♡
絞め付けハンパなくて
カリの引っ掛かり
スゲエ~~~~ッ!!♡」

「ヒイあああ~~~~ッ!?!♡ 好き好きッ!!♡
ふっ二人のチンポの方がアンデイより
ずっと好きイ~~~~ッ!!♡♡♡」

「ダブルヘヘヘヘッ!!」

「オマシコ同時で
イグウウウッ!!」

「あ~~~~やっは
マシコ同時は頭の中
痺れるばなしになって
ヤヘーな……☆」

「うっつかオイ、まだ
印紋消えてねーぞ!!」

「マジか!?
今回手ごわいな……w
・黒人やローのせいだな?

「じゃーねえあと2、3発DVP*
頑張るか? イケるかジョー?」

「当たり前えよ!!!」

「グッおおおお……!!!
射精感パネエエ……♡♡♡」

(※Double
Vaginal
Penetration)



「ラー……ッ!!
出した出した……!
もー出ねえ……!」



「結局今日もマンコアナル
合わせりや」3、4発はヤッてるけどなW
「なあ次はビッグベアと
ホア・ジャイも誘ってみようぜ」

「……いや、月イチとは言え毎回ノルマ
10発はやっぱりキツイなW」

「アイエ……イー!お疲れ……!!」

「おお、ベアはチンコデカそうだし、
ホアはモテなくても何年も
女とヤッてねえつて言つてたしな!W」

「舞のマンコ
壊れなきやいいけどなW」

「いやあ舞ちゃんマンコなら
ヨエーのしよW
どうよ舞ちゃん?」

「の……望むところよオ……
……か……か……か……
らっしやい……!」



ども、さんぢえるまん・猿です。
今回は、昨年からちまちま描き進めていた
舞ちゃんNTR本（つぽいもの）です…。
実は、昨年のとらのあな様主催の同人イベント台合わせの6ページイラストの
コピー誌が元になってまして、ネーム膨らませてるうちに
なんかネトラレつぽい話になりました。
最初の2ページにイラスト形式の名残がありますね。
ネームが難産になってしまっってエライ時間かかってしまいましたが一…orz
（そう言えば今回のフキダシを用いない方式、海外の勝手に翻訳して
違法アップロードする輩には手も足も出せないかもですな。
ま、日本人にもちょっと読みづらいけど。）
話的内容的に最初っから全裸セックスでコメントサイ…(;´Д`)
やっぱもう少しは服着てるページないとダメでしたね…。
まあそうなるかとあと1か月は発行延びたかもですが…。
又ケましたら嬉しいですハイ。

次回（冬コミ?）は、オリジナルモノとかで頑張ろうと考えておりますが、
ほかのネタ思いついたらその限りではないです。
まあそろそろヒッチ系ではなく「無理矢理輪読」つての描きたいよね…。
去年今年と余りに発行ペースが滞っていたので、これからはマジ頑張ります。
引き続き応援のほど、よろしくお願いします～。

さんぢえるまん・猿 拜

あ、各クリエイター支援サイト(Fantia、PixivFANBOX、Ci-en)
での活動始めました。
ものつ漣いペース遅いけど…。

P.S, (そろそろ描きたいジャンルが思い付かなくなってきた…。
(ホントはアンヘル描きたい) (前の本でやりたいことやり切ったけど)



汚苦漬け

- ・ 誌名 不知火流房中術～初段～ 封妊の儀
- ・ 発行 新日本ペプシ党
- ・ 発行日 2022年6月30日

新日本ペプシ党 さんぢえるまん・猿
HP: <http://www.pepsitou1.sakura.ne.jp/> (←屍です…)
E-Mail: pepsitou@gmail.com
Twitter: @pepsitou (←普段はツイッターに張り付いてます。)
Pixiv : id=231479
Pawoo(Mastodon) : PEPSITOU



不知火流房中術
〜初段〜
「封妊の儀」

2022 SUMMER
新日本パプシン賞